

日本農薬学会設立 50 周年記念行事および第 50 回大会プログラム

日時：令和 7 年 3 月 11 日（火）～13 日（木）

会場：東京大学安田講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）

北里大学白金キャンパス（東京都港区白金 5-9-1）

大会受付：東京大学安田講堂（3 月 11 日），北里大学・大村記念ホール前（3 月 12, 13 日）

記念行事および大会日程

3 月 11 日(火) 東京大学安田講堂

総会および授賞式

9:00 – 10:25

日本農薬学会総会

会務報告，会計監査報告，議事

一般社団法人日本農薬学会会員総会

代議員総会報告

日本農薬学会授賞式

業績賞（研究）

岡澤敦司（大阪公立大学大学院）

矢島 新（東京農業大学）

業績賞（技術）

伊藤舞衣，野倉吉彦，高橋政樹，亀崎将司，坂本えみ子，西村慎哉（住友化学）

高橋 淳，川口昌宏，平田晃一，小泉圭司（日本曹達）

奨励賞

藤田萌香（九州大学大学院）

伴野有彩（大阪府立環境農林水産総合研究所）

論文賞

Ryosuke Nogami, Mari Nagata, Risa Imada, Kenji Kai, Takashi Kawaguchi, Shuji Tani
“Cycloheximide in the nanomolar range inhibits seed germination of *Orobanche minor*”

功労賞

梅津憲治

大河内武夫

中川好秋

設立 50 周年記念行事

1. 記念式典

10:45 – 11:45

開会の辞 仲下英雄 日本農薬学会新副会長

式辞 松田一彦 日本農薬学会会長

感謝状贈呈

来賓挨拶：

日本農学会会長 大杉 立

クロップライフジャパン会長 小澤 敏

日本植物防疫協会理事長 早川泰弘

日本植物病理学会会長 一瀬勇規

日本応用動物昆虫学会会長 日本典秀

閉会の辞 與語靖洋 日本農薬学会新会長

2. 50 周年記念公開シンポジウム

13:30 – 17:05

畝山智香子（国立医薬品食品衛生研究所）

松岡 聡（理化学研究所 計算科学研究センター／東京科学大学情報理工学研究院）

篠崎和子（東京農業大学総合研究所／東京大学）

大村 智（日本学術会議／日本学士院／北里大学）

3. 記念祝賀会

18:30 – 20:30

会場：東京ドームホテル

3 月 12 日(水) 北里大学白金キャンパス

9:00 – 17:10

授賞講演（大村記念ホール），一般講演（A-C 会場），シンポジウム（大村記念ホール），ランチ前セミナー（A-C 会場），企業展示（学生ラウンジ・薬学部 1 号館 1 階），ミキサー（若手交流会）（学生食堂薬学部 2 号館 1 階）

3 月 13 日(木) 北里大学白金キャンパス

9:00 – 15:30

一般講演（A-C 会場），シンポジウム（A 会場），ランチ前セミナー（A-C 会場），企業展示（学生ラウンジ・薬学部 1 号館 1 階）

50周年記念公開シンポジウム
「わたしたちの食をまもる植物保護科学の未来」

13:30 – 17:05

3月11日(火) 東京大学安田講堂

開会挨拶

PL1 畝山智香子 (国立医薬品食品衛生研究所) 13:35 – 14:20
「ほんとうの「食の安全」を考える」

座長：齋藤 勲 (東海コープ)

PL2 松岡 聡 (理化学研究所 計算科学研究センター／東京科学大学情報理工学研究院) 14:20 – 15:05
「AI for Science 研究は AI 研究にあらず」：理研における AI for Science
特に生成 AI の科学への適用を目指す TRIP-AGIS」

座長：松田一彦 (近畿大学)

PL3 篠崎和子 (東京農業大学総合研究所／東京大学) 15:20 – 16:05
「植物が乾燥から身を守るしくみの解明と育種への応用」

座長：浅見忠男 (横浜市立大学)

PL4 大村 智 (日本学術会議／日本学士院／北里大学) 16:05 – 16:50
「微生物と歩んだ半世紀 -人類の福祉と保健の向上に向けて-」

座長：滝川浩郷 (東京大学)

総合討論

閉会挨拶

令和7年度日本農薬学会賞受賞講演

3月12日(水) 大村記念ホール

12:25 – 14:45

奨励賞

AL1 藤田萌香 (九州大学大学院 農学研究科)

12:25 – 12:42

「植物免疫プライミングの分子機構と活用に関する研究」

座長：藤村 真 (東洋大学)

AL2 伴野有彩 (大阪府立環境農林水産総合研究所)

12:42 – 12:59

「LC-MS/MS を用いた残留農薬一斉分析における試料由来マトリックス効果およびその補正法に関する研究」

座長：坂 真智子 (エスコ)

業績賞(研究)

AL3 岡澤敦司 (大阪公立大学大学院 農学研究科)

12:59 – 13:29

「発芽代謝を標的とする根寄生雑草の防除に関する研究」

座長：與語 靖洋 (日本植物調節剤研究協会)

AL4 矢島 新 (東京農業大学 生命科学部)

13:29 – 13:59

「植物病原菌の制御物質に関する生物有機化学的研究」

座長：中谷 昌央 (クミアイ化学工業)

業績賞(技術)

AL5 伊藤舞衣, 野倉吉彦, 高橋政樹, 亀崎将司, 坂本えみ子, 西村慎哉 (住友化学)

13:59 – 14:22

「殺虫剤「オキサゾスルフィル」の開発」

座長：番場 伸一 (三井化学 CLS)

AL6 高橋 淳, 川口昌宏, 平田晃一, 小泉圭司 (日本曹達)

14:22 – 14:45

「殺ダニ剤「アシノナピル」の開発」

座長：三田 猛志 (日産化学)

シンポジウム 1

3月12日(水) 大村記念ホール

14:55 – 17:10

「次世代の農業開発を担う若手研究者のシンポジウム」

オーガナイザー：小倉由資（東京大学）

君嶋 葵（北里大学）

開会挨拶

14:55 – 15:00

S1-1 ストリゴラクトン生合成の選択的分子制御による根寄生雑草防除

15:00 – 15:25

○若林孝俊（東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻）

座長：小倉由資（東京大学）

S1-2 機能性リガンド分子を用いたミトコンドリア呼吸鎖複合体-Iのキノン反応部位の特性解明

15:25 – 15:50

○榎谷貴洋（京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻）

座長：君嶋 葵（北里大学）

S1-3 *Curvularia* 属糸状菌が生産する抗菌性環状ペプチド化合物の生合成遺伝子クラスターの同定

15:50 – 16:15

○山口滋生（クミアイ化学工業 研究開発本部 生物科学研究所 生命・環境研究センター）

座長：君嶋 葵（北里大学）

S1-4 除草活性を有するシクロヘキサノイド stagonosporyne G および関連天然物の合成研究

16:20 – 16:45

○岡村仁則（東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻）

座長：君嶋 葵（北里大学）

S1-5 新規殺菌剤ピリダクロメチルの創製

16:45 – 17:10

○山本 将起、真鍋 明夫、松崎 雄一、原田 俊幸、岩橋 福松

（住友化学株式会社 アグロ&ライフソリューション研究所）

座長：小倉由資（東京大学）

閉会挨拶

シンポジウム 2

3月13日(木) A会場 (2301 教室)

13:00 – 15:15

「植物保護の革新と未来」

共催：農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー：太田広人（崇城大学）

伊藤晋作（東京農業大学）

開会挨拶

13:00 – 13:05

S2-1 植物ウイルス複製酵素の動態解析が示す病害制御への新たな道筋

13:05 – 13:35

○小松 健（東京農工大学大学院・農学研究院）

座長：村井正俊（京都大学）

S2-2 タンパク質間相互作用を標的とした植物ケミカルバイオロジー

13:35 – 14:05

○西山康太郎（明治大学・農学部）

座長：西脇 寿（愛媛大学）

休憩

S2-3 ネギアザミウマの異なる生殖型における合成ピレスロイド剤抵抗性に関わるアミノ酸
変異の起源と遺伝子交流

14:15 – 14:45

○園田昌司¹, 相澤美里², 上樂明也³ (¹宇都宮大学・農学部, ²香川県農業試験場,
³農研機構・生物機能利用研究部門)

座長：角 拓人（日本化薬）

S2-4 抗いもち剤探索のケミカルバイオロジー

14:45 – 15:15

○長田裕之（理化学研究所・環境資源科学研究センター）

座長：西ヶ谷有輝（アグロデザイン・スタジオ）

閉会挨拶

ランチ前セミナー

3月12日(水)

10:55 – 11:35

L1-1 クロップライフジャパン

会場:A会場 (2301教室)

演題: 食料安全保障における作物保護の重要性

演者: 廣岡 卓 (JCPA農薬工業会 事務局長)

L1-2 Labcorp Laboratories Japan / ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン合同会社

会場:B会場 (2202教室)

演題: 規制の変化への対応: Forever Chemical (PFAS) 及び CLP規則に基づく新しい危険有害性クラス

演者: 松山 京美 (ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン)

L1-3 技術士セミナー (日本農薬学会)

会場:C会場 (2201教室)

演題: 技術士試験受験・合格体験談

演者: 加藤 綾奈 (東京都農林総合研究センター)

3月13日(木)

11:25 – 12:05

L2-1 LANDIS International, Inc. (世話人企業:LANDIS International Japan 合同会社)

会場:A会場 (2301教室)

演題: Registering Pesticides with the US EPA

演者: Dennis Hattermann (President, Residue & Environmental Fate Expert, Landis International, Inc.)
Lisa Ayn Setliff (Vice President, Regulatory Expert, Landis International, Inc.)

L2-2 DSA SCIENTIFIC合同会社

会場:B会場 (2202教室)

演題: The Impact of Drinking Water Treatment Processes on Residues of Active Substances or Their Metabolites: Planning and Preliminary Results from an Internal Pilot Study

演者: James O'Neill, MChem PhD (Charles River Edinburgh)

★ チケットは、当日朝 8:30から大村記念ホール前の受付で配布いたします。奮ってご参加ください。

展示会

北里大学・白金キャンパス 1号館1F 学生ラウンジ

3月12日(水) 9:00-17:00

3月13日(木) 9:00-16:00

出展: 富士シリシア化学株式会社
株式会社ケー・エー・シー
ビオブリッジ株式会社
株式会社北浜製作所
ユーロフィンアグロ分析コンサルタント株式会社
株式会社Happy Quality
株式会社アンプラット
株式会社アクセライズ
株式会社ナイルワークス
内閣府食品安全委員会
一般財団法人生物科学安全研究所
朝日印刷株式会社(50周年記念出版)

一般講演 会場別 講演分野

| | A会場 (2301 教室) | B会場 (2202 教室) | C会場 (2201 教室) |
|----------------|-------------------------|------------------|---|
| 3月12日(水) 午前 | 残留, 分析法 環境科学, 生態影響 | 分子設計, 合成化学 | 作用機構, 抵抗性 ゲノムサイエンス |
| 3月12日(水) 午後 | シンポジウム1 (大村記念ホール) | ミニシンポジウム | — |
| 3月13日(木) 午前 | 作用機構, 抵抗性 代謝, 分解, 動態 | 分子設計, 合成化学 | 作用機構, 抵抗性 生物活性, 検定法 |
| 3月13日(木) 午後 | シンポジウム2 | 天然物化学 | デジタルトランスフォーメー ション, 作用機構, 抵抗性, 生合成 |

ランチ前セミナー会場

| | A会場 (2301 教室) | B会場 (2202 教室) | C会場 (2201 教室) |
|-----------------------------|-------------------------|------------------------|------------------|
| 3月12日(水) (10:55 - 11:35) | クroppライフ ジャパン | ラボコープ・ラボ ラトリーズ・ジャパン | 技術士セミナー |
| 3月13日(木) (11:25 - 12:05) | LANDIS International | DSA SCIENTIFIC | — |

一般講演座長一覧

| | A 会場 (2301 教室) | B 会場 (2202 教室) | C 会場 (2201 教室) |
|-------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 3 月 12 日(水) | 近藤 圭 A201~A204 | 甲斐建次 B201~B204 | 太田広人 C201~C204 |
| | 殷 熙洙 A205~A207 | 宮下正弘 B205~B207 | 伊原 誠 C205~C207 |
| | | 山本敦司 B208~B211 | |
| | | 仲下英雄 B212~B215 | |
| 3 月 13 日(木) | 飯島和昭 A301~A303 | 姜 法雄 B301~B303 | 草島美幸 C301~C303 |
| | 片岡良太 A304~A306 | 小倉 由資 B304~B306 | 小松 健 C304~C306 |
| | 三澤 靖 A307~A309 | 矢島 新 B307~B309 | 水口智江可 C307~C309 |
| | | 橋本 誠 B310~B312 | 原田俊幸 C310~C313 |
| | | 中野元文 B313~B315 | 本間颯太 C314~C317 |
| | | 君島 葵 B316~B317 | |
| | | | |

第 50 回大会(東京)大会組織委員会

委員長： 滝川浩郷(東京大学大学院)

副委員長： 浅見行弘(北里大学大村智記念研究所)

実行委員： 中嶋正敏(東京大学大学院)

君嶋 葵(北里大学大村智記念研究所)

須恵雅之(東京農業大学)

塩田隆之(住友化学)

古谷 敬(日本農薬)

伊藤晋作(東京農業大学)

飯島和昭(残留農薬研究所)

與語靖洋(日本植物調節剤研究協会)

小倉由資(東京大学大学院)

本間颯太(北里大学大村智記念研究所)

菊地 晃(三井化学 CLS)

近藤まり(埼玉県農業技術研究センター)

三澤 靖(日産化学)

森山裕充(東京農工大学)

元場一彦(日本農薬)

仲下英雄(福井県立大学)

一般講演についてのお願い

口頭発表の発表形式は、PC プロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表に用いるノートパソコンは、発表者各自でご持参ください。パソコンの不具合に備えて、プレゼンテーションデータを pdf 形式で保存した USB メモリなどを必ずご持参ください。持参されたパソコンの不具合などの場合は、会場に設置された予備のパソコンに、その USB メモリを挿して pdf ビューワー（Acrobat Reader など）で発表していただきます。会場での不慮のトラブルでお困りの場合は、会場スタッフにご相談ください。

〈会場機材のスペック〉

- ✓ 発表会場の PC プロジェクターに接続するモニターケーブルの接続端子は、HDMI（type-A）です。発表のためご持参いただくパソコンが、HDMI 接続で外部モニタに出力可能であることを予めご確認ください。HDMI 端子がないパソコンや一部の MacBook などの USB-C のみのデバイスの利用者は、HDMI 変換アダプタを発表者ご自身で、ご持参いただく必要があります。旧来の VGA（D-sub）接続は利用できませんのでご注意ください。
- ✓ PC プロジェクターの解像度は、自動調整されますので発表者側で気にしていただく必要はありません。

〈発表の手順〉

- ✓ スクリーンセーバー、省電力設定はあらかじめ解除し、起動音をミュート（消音）にしておいてください。
- ✓ 次次発表者・次発表者は会場前方の指定の席にお座りください。次次発表者になりましたらパソコンを起動し、発表画面を出してお待ちください。
- ✓ 前の発表が終わりましたら、次の発表者は演台でモニターケーブルを受け取り接続してください。通常、自動的にパソコンと同じ画面がスクリーンに映し出されます（ミラーリング）。
- ✓ 発表終了後は、モニターケーブルを抜いて次発表者にお渡しください。
- ✓ トラブル発生時は、USB メモリを用いた会場設置パソコンでの発表に切り替えていただきます。トラブル対応の時間も発表時間に含まれますのでご了承ください。
- ✓ 講演時間は 1 演題あたり 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）です。質疑応答には入れ替え時間を含んでいます。3 鈴（14 分）が鳴りましたら質疑応答を終了し、次発表者と交代してください。ベルを

鳴らすタイミングは以下のとおりです。

1鈴 10分経過時

2鈴 12分経過時(発表時間終了)

3鈴 14分経過時(質疑応答終了)

⇒ 15分後には次演者の発表を開始します。

一般講演

発表 12 分, 質疑応答 3 分(入れ替え含む)

第 2 日目

3 月 12 日 (水) A 会場(2301 教室) 午前

| | | |
|-------------|------|--|
| 9:00— 9:15 | A201 | 農用地土壌中の多成分 PFAS 一斉分析のための実用的アプローチ ○殷熙洙, 秦浩司, 亀山眞由美(農研機構・高度分析研究センター) |
| 9:15— 9:30 | A202 | 導管液タンパク質による PFAS 輸送と作物汚染 千歳菜摘 ¹ , 殷熙洙 ² , ○乾秀之 ^{1,3} (¹ 神戸大院・農, ² 農研機構・高度分析センター, ³ 神戸大・バイオ) |
| 9:30— 9:45 | A203 | 花粉・花蜜残留試験における試料調製の検討 ○古川雅也, 高松博明, 小林賢太, 鈴木将人, 北條敏彦(株式会社EA リサーチ) |
| 9:45—10:00 | A204 | 農薬等残留物ばく露量の確率論的推定法の検討 ○苑暁藝, 松田りえ子, 藤原綾, 登田美桜, 渡邊敬浩(国立医薬品食品衛生研究所) |
| 10:00—10:15 | A205 | 農薬の付着特性を考慮した残留濃度予測モデル構築に関する研究 第 3 報: 3D スキャナーを用いた多種果実・果菜類の形態調査と残留値予測 ○近藤圭 ¹ , 土橋ひかり ¹ , 飯島和昭 ¹ , 渡邊敬浩 ² (¹ 一般財団法人残留農薬研究所, ² 国立医薬品食品衛生研究所) |
| 10:15—10:30 | A206 | 地方衛生研究所における抗生物質分析の研修指導 -なし飲料を対象とした残留オキシテトラサイクリン試験法の妥当性確認- ○平田祥太郎 ¹ , 秋澤直仁 ² , 荒木浩太 ² , 寺澤宏樹 ² , 山口進康 ¹ (¹ (地独)大阪健康安全基盤研究所・衛生化学部, ² 大阪大学・医学部) |
| 10:30—10:45 | A207 | Rapid CCSLC in Residue Determination ○Torsten Spitzer(Industrial and Food Analysis) |

3 月 12 日 (水) B 会場(2202 教室) 午前

| | | |
|-------------|------|---|
| 9:00— 9:15 | B201 | Ganomycin Jの合成研究 ○清水若奈 ¹ , 斉藤竜男 ² , 矢島新 ² (¹ 東農大院・生命, ² 東農大・生命) |
| 9:15— 9:30 | B202 | 線虫に対する駆虫活性を有するnecroxime Dの合成研究 ○福田清佳 ¹ , 中田浩基 ¹ , 斉藤竜男 ² , 矢島新 ² (¹ 東農大院・生命, ² 東農大・生命) |
| 9:30— 9:45 | B203 | ベンジル位 C-O 結合の還元的開裂を経るベンジルナトリウムの調製 姜法雄 ¹ , ○若林桃子 ² , 佐藤哲也 ³ (¹ 神戸大院農, ² 神戸大農, ³ 阪公大院理) |
| 9:45—10:00 | B204 | 3-ヨード-2Hクロメン合成法の開発 姜法雄 ¹ , ○豊口樹 ² , 佐藤哲也 ³ (¹ 神戸大院農, ² 神戸大農, ³ 阪公大院理) |
| 10:00—10:15 | B205 | アリールナトリウムの二酸化炭素によるカルボキシル化反応 姜法雄 ¹ , ○藤澤ゆい ² , 佐藤哲也 ³ (¹ 神戸大院農, ² 神戸大農, ³ 阪公大院理) |
| 10:15—10:30 | B206 | 非晶質性トリチル化糖のカラムフリー精製法の開発 姜法雄 ¹ , ○井下舜介 ² , 季白修真 ¹ , Vy M. Dong ³ (¹ 神戸大院農, ² 神戸大農, ³ カルフォルニア大学アーバイン校) |

10:30-10:45 B207 5, 6-ジヒドロソラナコールの合成研究
○内田裕一郎¹, 杉本幸裕¹, 滝川浩郷², 姜法雄¹ (¹神戸大院農, ²東大院農生科)

3月12日(水) B会場(2202教室) 午後

総合的病害虫・雑草管理研究会：発足記念ミニシンポジウム

15:00-15:15 B208 IPMのイノベーション (実践的で経済的な視点からの提案)
○山本 敦司(日本曹達株), 河津 圭(協友アグリ株)

15:15-15:30 B209 化学防除とIPM, IPMの次世代技術
○河津 圭(協友アグリ株), 山本 敦司(日本曹達株)

15:30-15:45 B210 生物的防除の動向とイノベーション
○森 光太郎(石原産業株)

15:45-16:00 B211 IPM実証調査に基づくIPMの普及
草間 直人(一般社団法人全国農業改良普及支援協会)

バイオスティミュラント研究会：発足記念ミニシンポジウム

16:05-16:20 B212 腐植酸バイオスティミュラント資材の特性と施用効果
○伊藤 弘樹、本田 一馬、坂下 普志 (デンカ株式会社)

16:20-16:35 B213 リグニンスルホン酸の紹介
○柴田 晃(日本製紙株式会社)

16:35-16:50 B214 バイオスティミュラント製品の開発と農業生産現場への導入
○須田 正樹¹, 伊藤 昌隆², 幸 伸彦¹(1シプカム・ジャパン株式会社, 2住商アグリビジ
ネス株式会社)

16:50-17:05 B215 鉄栄養の吸収を高める資材とその使い方
○鈴木 基史(愛知製鋼株式会社)

3月12日(水) C会場(2201教室) 午前

9:00-9:15 C201 受容体補助因子 NACHO を用いて発現させた*Drosophila melanogaster* D α 1/D β 1
ニコチン性アセチルコリン受容体に対するネオニコチノイドのアゴニスト 活性へ
のloop C、loop Dおよびloop Gの部位特異的変異の影響
○伊藤稜¹, 小嶋尚憲¹, 武林真由花¹, 竹内美有¹, 高橋ひより¹, 森澄海人¹, 伊原誠¹,
David B. Sattelle², 松田一彦¹ (¹近大院・農, ²UCL)

9:15-9:30 C202 In silico法を用いたニコチン性受容体-リガンド間相互作用の評価法の検討
○伊原誠, 伊藤稜, 小嶋尚憲, 武林真由花, 森澄海人, 松田一彦(近畿大学農学部)

9:30-9:45 C203 ジアジノイル基を持つニコチン性殺虫剤の化学構造活性相関と ターゲット表面で
の分子認識解析
○上原佳夏¹, 寺島健仁¹, 綾部千宏¹, 堀越亮², 松本優月¹, 下村健司¹, 富澤元博¹(¹
東京農大院・生命, ²三井化学CLS)

| | | |
|-------------|------|---|
| 9:45-10:00 | C204 | 昆虫/脊椎動物ニコチン性アセチルコリン受容体間の選択性を決定するニコチン性リガンドの分子認識特性 ○松本優月, 寺島健仁, 上原佳夏, 下村健司, 富澤元博(東京農大院・生命) |
| 10:00-10:15 | C205 | サツマイモネコブセンチュウの新規フェノールアミン受容体の機能解析 ○太田広人 ¹ , 亀田慶悟 ¹ , 安藤祥司 ¹ , 光増可奈子 ² (¹ 崇城大・生物生命, ² 尚綱大・生活科学) |
| 10:15-10:30 | C206 | 標的遺伝子発現システムによるイベルメクチンとレピメクチンの差別化 ○尾添嘉久, 吉岡泰秀, 尾添富美代(島根大・生物資源) |
| 10:30-10:45 | C207 | ナミハダニにおけるRNA農薬標的探索: 消化細胞プロテオミクスからのアプローチ ○武田直樹, 新井優香, 鈴木丈詞(農工大院・BASE) |

第3日目

3月13日(木) A会場(2301教室) 午前

| | | |
|-------------|------|--|
| 9:00-9:15 | A301 | ジクロロメゾチアズ水和剤の効果特性について ○西野真由, 山我岳史, 大矢武志, 彌富丈一郎, 戸澤聖(JA全農) |
| 9:15-9:30 | A302 | 粘土鉱物薄膜による害虫防除メカニズム ○吉永直子(京都大学大学院農学研究科) |
| 9:30-9:45 | A303 | 化学農薬散布を大幅に削減したモモ栽培一圃場調査から明らかになった特性一 ○片岡良太(山梨大・生命環境), 佐藤幸恵(筑波大・山岳セ), 芹澤如比古(山梨大・教育), 植田郁生(山梨大・工学) |
| 9:45-10:00 | A304 | 柑橘病原菌に抗菌活性を示す微生物の探索及び抗菌物質の検討 ○嶋崎颯真, 山内聡, 西脇寿(愛媛大院・農) |
| 10:00-10:15 | A305 | 内分泌かく乱物質ノニルフェノールが雌雄同株植物の生殖(性比)に及ぼす影響 ○安田彩人 ¹ , 土井具汰 ¹ , 石若直人 ¹ , 平岩将良 ² , 早坂大亮 ² (¹ 近大院・農, ² 近大・農) |
| 10:15-10:30 | A306 | イネいもち病菌クリソウイルス感染による宿主菌薬剤感受性の影響調査 ○後藤寛治 ¹ , 福原敏行 ² , 森山裕充 ² (¹ 農工大院連農, ² 農工大院農) |
| 10:30-10:45 | A307 | メトキシクロル代謝をモデル反応としたヒトにおける代謝物プロファイル推定試験系の検討(第2報) ○笠神威雄, 杉岡大介, 大山和俊(一般財団法人残留農薬研究所) |
| 10:45-11:00 | A308 | 重水素同位体効果を利用したBHC代謝・動態研究 ○田中啓司 ¹ , 杉岡大介 ² , 田牧祐治 ² , 尾添嘉久 ³ , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大農, ² 残留農薬研究所, ³ 島根大) |
| 11:00-11:15 | A309 | 微生物由来のベンズピリモキサン分解酵素に関する研究~第2報~ ○清木一生 ¹ , 村田洋平 ¹ , 泰永涼子 ¹ , 吉實隆志 ¹ , 水口千穂 ^{2,3} , 野尻秀昭 ^{2,3} (¹ 日本農薬株式会社, ² 東大院・農生科, ³ 東大・微生物連携機構) |

3月13日(木) B会場(2202教室) 午前

| | | |
|-------------|------|---|
| 9:00— 9:15 | B301 | C-H酸化反応によるオレフィン化を利用したリダイフェン類の新規合成経路の開発 村田貴嗣, 小向杏佳, ○村田絵理, 佐藤芙美, 山口桃佳, 陸穎佳, 平井陽楓, 古宮惟菜, 下仲基之, 椎名勇(東理大理) |
| 9:15— 9:30 | B302 | シロアリの外敵防御物質3-ヒドロキシヘキサコサノライドの全合成 村田貴嗣, 平賀駿星, 木地翔大, ○佐藤芙美, 鄭真宇, 椎名勇 (東理大理) |
| 9:30— 9:45 | B303 | 抗真菌活性化化合物ユーシェアリライド類縁体の合成 村田貴嗣 ¹ , 平賀駿星 ¹ , ○木地翔大 ¹ , 鄭真宇 ¹ , 関里亜 ² , 大楠美佐子 ² , 古賀育子 ² , 亀井克彦 ² , 渡辺哲 ² , 石和田稔彦 ² , 椎名勇 ¹ (¹ 東理大理, ² 千葉大) |
| 9:45—10:00 | B304 | 2'-デメチルコプロフィリン縮環部異性体の合成研究 村田貴嗣, 伊藤圭一, 森貴大, 筒井久澄, 臼倉大輝, 岡野宙輝, 平田諒, 塩釜龍之介, ○金井大和, 小田桐稜太, 細野陸, 萩原祐成, 陸穎佳, 市川翔, 平井陽楓, 北本玉依, 椎橋愛莉, 古宮惟菜, 下仲基之, 椎名勇(東理大理) |
| 10:00—10:15 | B305 | Weinreb アミド型Horner-Wadsworth-Emmons (HWE) 反応を用いた M-COPA 類縁体の合成 村田貴嗣, 筒井久澄, 臼倉大輝, 岡野宙輝, 平田諒, ○塩釜龍之介, 金井大和, 小田桐稜太, 細野陸, 萩原祐成, 陸穎佳, 平井陽楓, 北本玉依, 椎橋愛莉, 古宮惟菜, 下仲基之, 椎名勇(東理大理) |
| 10:15—10:30 | B306 | Eutyscoparol C の全合成 村田貴嗣, ○中山諒, 小坂幸穂, 岩山拓翔, 筒井久澄, 椎名勇(東理大理) |
| 10:30—10:45 | B307 | カメムシ臭気成分4-oxo-(E)-2-hexenalとその類縁体の合成および活性評価 ○三浦太陽, 野下浩二(秋田県立大学・生物資源科学) |
| 10:45—11:00 | B308 | Dendrocrepidine Dの合成研究 ○浪川 大誠, 岡村 仁則, 小倉 由資, 滝川 浩郷 (東京大学大学院農学生命科学研究科) |
| 11:00—11:15 | B309 | プレニル化ケンフェロール類の合成研究 ○鶴飼夕菜, 滝川浩郷, 小倉由資(東大院農生科) |

3月13日(木) B会場(2202教室) 午後

| | | |
|-------------|------|---|
| 13:00—13:15 | B310 | <i>Androctonus australis</i> 由来殺虫性ペプチドAaIT5の合成と活性評価 ○堺祥一, 中川好秋, 宮下正弘(京大院・農) |
| 13:15—13:30 | B311 | クロガケジグモ毒液に含まれる毒素様ペプチドの構造決定 ○四俵知哉, 山本怜, 中川好秋, 宮下正弘(京都大学大学院農学研究科) |
| 13:30—13:45 | B312 | ヤエヤマサソリ毒液に含まれる殺虫性ペプチド LaIT5 の構造活性相関 ○治郎島慶怜, 岩本芙紀, 中川好秋, 宮下正弘(京大院・農) |
| 13:45—14:00 | B313 | <i>Trichoderma virens</i> からのFuranosteroid-viridin, viridiol-類産生最適化検討 章文, 須波 和, 橋床泰之, 村井勇太, ○橋本 誠(北海道大院・農) |

- 14:00—14:15 B314 *Collimonas fungivorans* Ter331 株が産生するポリイン Collimonin 類の生合成
○久米琴音, 片山直香, 甲斐建次(阪公大院・農)
- 14:15—14:30 B315 サナギタケを用いた新規フェアリー化合物類縁体の創出
○森井風詩¹, 崔宰熏¹⁻⁴, 鈴木智大^{3,5}, 道羅英夫^{3,4}, 近藤満⁴, 平井浩文¹⁻⁴, 河岸洋和^{1,3} (¹ 静大院・総合農, ² 静大・共創, ³ 静大・キノコ科研, ⁴ 静大・グリーン研, ⁵ 宇大・バイオ)
- 14:30—14:45 B316 植物保護細菌 *Pseudomonas protegens* が産生する揮発性抗菌物質
○瀬尾茂美, 太田愛理沙, 竹内香純(農研機構・生物機能利用研究部門)
- 14:45—15:00 B317 微生物培養液からの灰色かび病を標的とした農薬シードの探索
○濱田華凜¹, 薊はるき¹, 芦田晃², 渡邊善洋^{1,3}, 菅原章公^{1,3}, 小島裕貴^{1,3}, 常盤俊之³, 野中健一⁴, 稲橋佑起^{1,3}, 長野由梨子⁵, 五島剛太⁶, 竹本大吾², 廣瀬友靖^{1,3}, 砂塚敏明^{1,3}, 岩月正人^{1,3} (¹ 北里大院・感染制御, ² 名古屋大院・生命農, ³ 北里大・大村研, ⁴ 帝京科学大・生命環境, ⁵ 海洋研究開発機構, ⁶ 名古屋大院・理)

3月13日(木) C会場(2201教室) 午前

- 9:00—9:15 C301 *cis*(+)-12-OPDA合成酵素三量体の熱的安定性を制御する人工分子の探索
○神保和希¹, 鈴木泰輝², 佐藤綾人^{3,4}, 松浦英幸⁵, 瀬戸義哉¹, 西山康太郎¹ (¹ 明大・農, ² 明大院・農, ³ 名大・WPI-ITbM, ⁴ 名大・COMIT, ⁵ 北大院・農)
- 9:15—9:30 C302 カリキン受容体KAI2阻害剤KK181N1の結合様式の解析
王建文, 高橋郁夫, 喜久里貢, 酒井達也, 中村英光, 宮川拓也¹, ○浅見 忠男(東大院・農生科, ¹ 京大院・生命科学)
- 9:30—9:45 C303 ジャスモン酸シグナルを活性化させる殺菌剤の探索
○影山友史, 川田紘次郎, 草島美幸, 高橋郁夫, 浅見忠男, 中嶋正敏(東大院・農生科)
- 9:45—10:00 C304 新規抵抗性誘導剤UT34がシロイヌナズナに及ぼす影響の解析
○草島 美幸^{1,2}, 藤田 萌香^{3,4}, 仲下 英雄³, 浅見 忠男^{2,5} (¹ 慶大・法, ² 東大院・応生科, ³ 福井県大院・生物資源, ⁴ 九大院・農, ⁵ 横浜市大・木原生研)
- 10:00—10:15 C305 新規抵抗性誘導剤UT34による植物免疫プライミングに関する トランスクリプトーム解析
田中 智也¹, 猪嶋 健悟¹, 藤田 萌香¹, 草島 美幸², 浅見 忠男², 仲下 英雄¹
(¹ 福井県大院・生物資源, ² 東大院・応生化)
- 10:15—10:30 C306 ヒートショック処理による NPR1 非依存的な病害抵抗性シグナルの制御機構
○田中 智也¹, 草島 美幸^{2,3}, 藤田 萌香^{1,4}, 堀田 里奈¹, 仲下 英雄¹
(¹ 福井県大・生物資源, ² 慶應大・法, ³ 東大院・応生科, ⁴ 九大院・農)
- 10:30—10:45 C307 カイコオクトパミン受容体 BmOAR3 の薬理解析
○吉川拓馬¹, 小柳瑞穂¹, 高田瑞貴², 安藤祥司¹, 太田広人¹ (¹ 崇城大・生物生命, ² 熊大院・自然科学)
- 10:45—11:00 C308 1-二置換benzyl-2-methylbenzimidazole誘導体 (BMBIs) がカイコの成長に与える影響

○井上鼓捺¹, Gunasekara Sahan², 塩月孝博^{1,3} (¹ 島根大院・自然科学, ²鳥取大院・連合農学, ³島根大・生物資源)

11:00–11:15 C309 **Biological activity of 2-methyl-1-(thiophen-2-yl)methylbenzimidazole on development of *Bombyx mori***

○Sahan Gunasekara¹, Konatsu Inoue², Takahiro Shiotsuki^{1,2} (¹ Tottori Univ. United Grad. Sch. Agric. Sci., ²Shimane Univ. Grad. Nat. Sci., ³Shimane Univ. Fac. Life Environ. Sci.)

3月13日(木) C会場(2201教室) 午後

13:00–13:15 C310 **農薬標的タンパク質結晶構造解析技術の高度化**

○中村顕, 田中良樹, 海江田修至, 山崎寛, 佐藤匡史, 西ヶ谷有輝 (株式会社アグロデザイン・スタジオ)

13:15–13:30 C311 **農薬標的タンパク質学習済みAlphaFold2による未解析植物タンパク質の精密構造予測**

○堀口晃一郎¹, 江越静香¹, 中村顕², 田中良樹², 佐藤匡史², 西ヶ谷有輝², 三澤拓真¹ (¹ 株式会社アンプラット, ² 株式会社アグロデザイン・スタジオ)

13:30–13:45 C312 **呼吸鎖複合体-I阻害剤マイコチアゾールの結合部位の同定**

○大谷燎平, 宮子修治, 齋藤大毅, 榎谷貴洋, 村井正俊, 三芳秀人 (京大院・農・応用生命)

13:45–14:00 C313 **コレラ菌由来Na⁺輸送型NADH-ユビキノン酸化還元酵素における阻害剤耐性メカニズムの解明**

○榎谷貴洋¹, 石川萌^{1,2}, 岸川淳一^{3,4}, 村井正俊¹, Danielle McFee², 加藤貴之⁴, Blanca Barquera², 三芳秀人¹ (¹ 京大院・農, ²レンセラー工科大・生物科学, ³ 京都工繊大・応用生物学, ⁴ 阪大・蛋白研)

14:00–14:15 C314 **セルトレイ苗へのフルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤の高濃度散布によるタマネギべと病の一次感染発病抑制**

○田代暢哉^{1,3}, 藤田将平², 川内孝太², 草場基章³ (¹ プラントヘルスケア研, ² 佐賀上場営農セ, ³ 佐賀大農)

14:15–14:30 C315 **Ralstonin 生合成に関与する Tyr β-水酸化酵素の同定と真菌寄生への寄与**

○野林亜由未, 斉藤悠晟, 甲斐建次 (阪公大院・農)

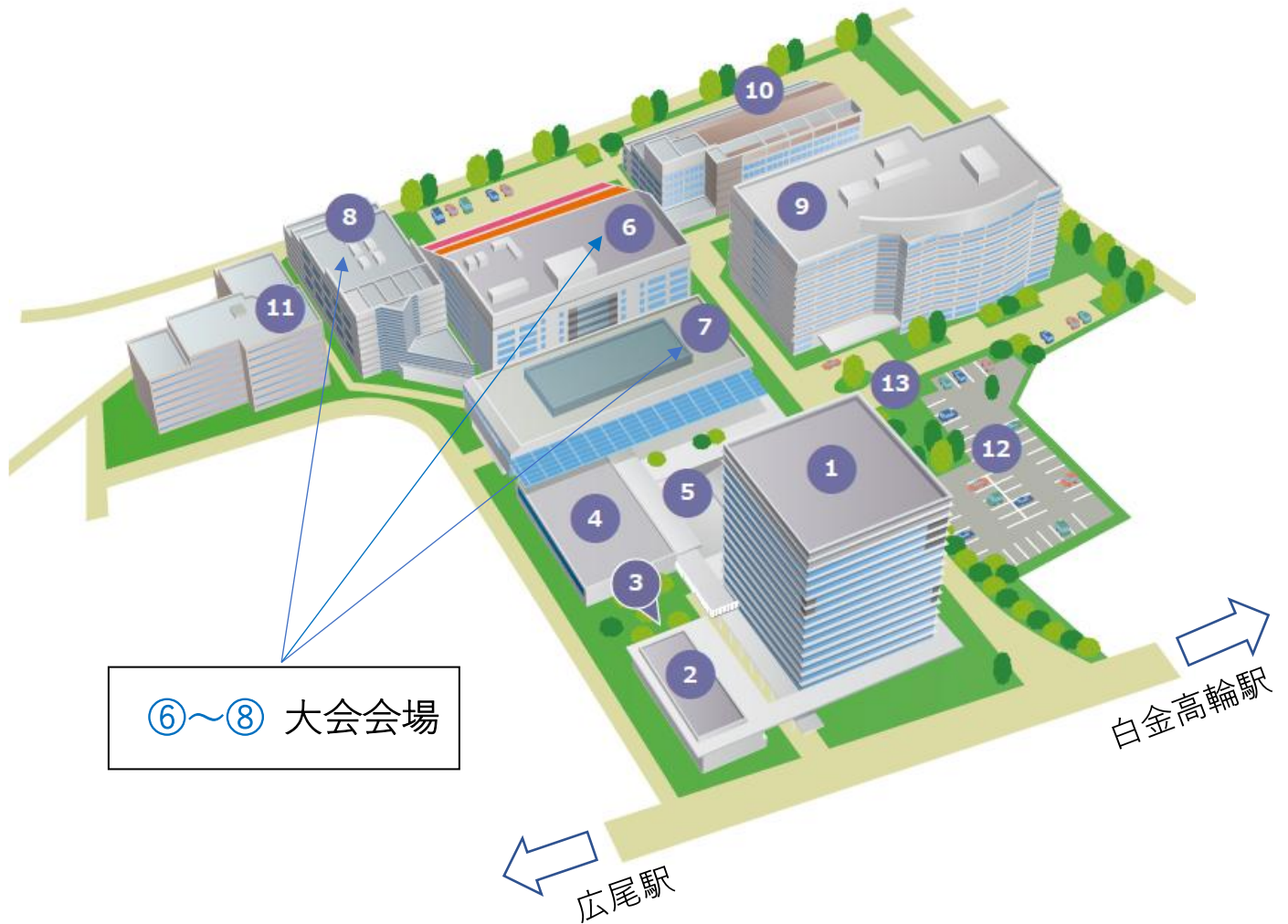
14:30–14:45 C316 **新規殺虫剤オキサゾスルフィルの作用機構**

○小嶋健, 岩橋福松 (住友化学株式会社 アグロ&ライフソリューション研究所)

14:45–15:00 C317 **イネいもち病菌銅輸送タンパク質MoICT1と殺菌剤フェリムゾンの相互作用の推定**

○田中想¹, 井口悠太¹, 駒野俊紀¹, 日比野滉太¹, 上原了¹, 奥野哲郎², 松村浩由¹, 竹田篤史¹ (¹立命館大・院生命, ²立命館大・総研)

北里大学・白金キャンパス イラストマップ

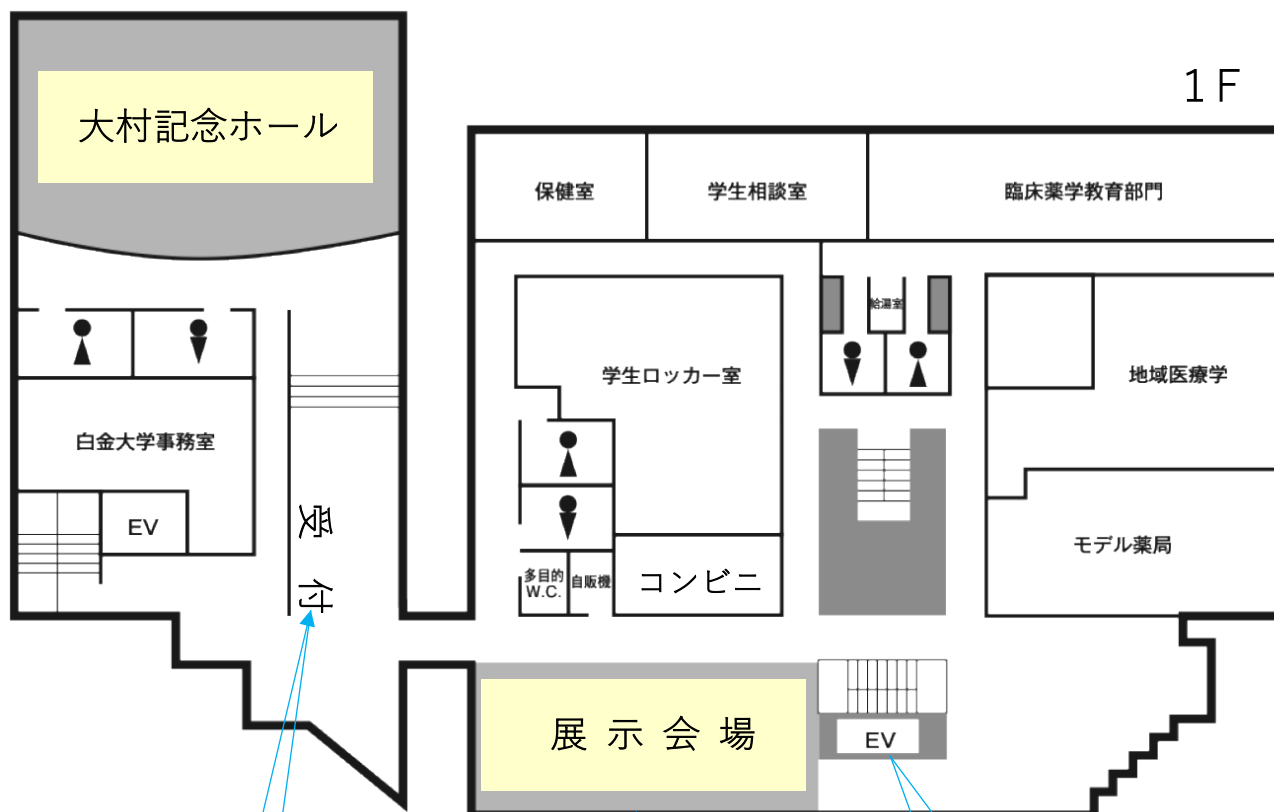


- ① 北里研究所／北里大学プラチナタワー
- ② 北里柴三郎記念博物館
- ③ 白金図書館
- ④ プラチナアリーナ
- ⑤ ソフィアプラザ
- ⑥ [薬学部 1 号館](#)
- ⑦ [薬学部 2 号館](#)
- ⑧ [大村智記念研究所\(大村記念ホール\)](#)
- ⑨ 北里研究所病院
- ⑩ アネックス棟
- ⑪ 職員宿舎
- ⑫ 駐車場(有料)
- ⑬ コッホ・北里神社

大村記念ホール

薬学部 1 号館

1F



ランチ前セミナーのチケットは
受付にて 8:30~配付します。

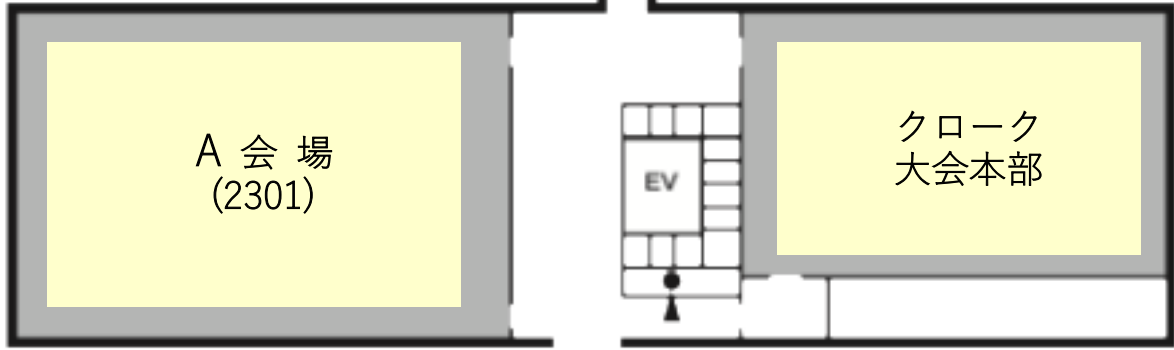
4階・渡りローカから
2号館 3階へ移動できます。
(A会場 2301 教室へ直結)

出展企業：富士シリシア化学株式会社、株式会社ケー・エー・シー
 バイオブリッジ株式会社、株式会社北浜製作所
 ユーロフィンアグロ分析コンサルタント株式会社
 株式会社 Happy Quality、株式会社アンプラット
 株式会社アクセライズ、株式会社ナイルワークス
 内閣府食品安全委員会、一般財団法人生物科学安全研究所
 朝日印刷株式会社 (50周年記念出版)

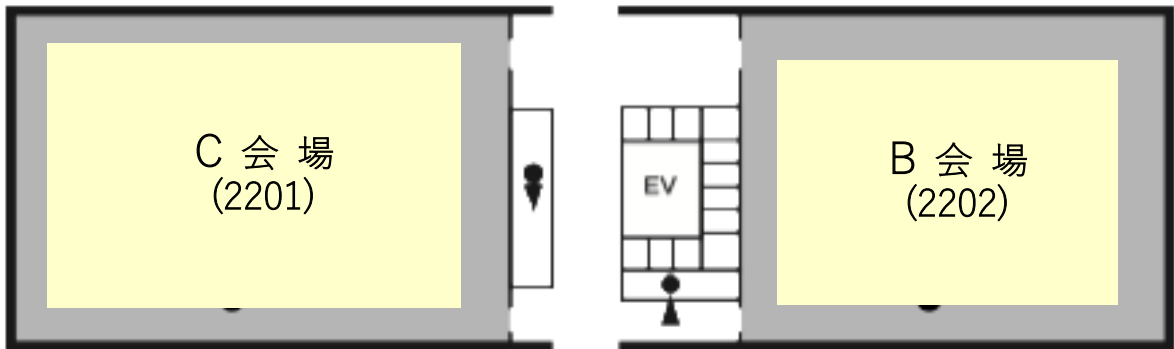
薬学部2号館

1号館 4F へ

3F



2F



1F

